

岩手県立高田高等学校 広報



第2号

八重の汐

技訓
至誠
錬磨
創造

第一回広田湾調査

四月三日(火)の午前中、海洋システム科海洋科学コースの二年生が、広田湾の環境及び水質の調査の、一回目を行いました。



脇ノ沢漁港から出発

この調査は、今年度から広田湾漁協様、陸前高田市様、岩手大学様と本校の、「産官学」が連携して行うことになったもので、主に広田湾のクロロフィル量を測定することで、海の豊かさの現状を確認し貝毒発生の予測につなげていこうというものです。



数値を確認しています

TxACTION

TxACTIONとは、「タクシオン」と呼んでいる、本校の「総合的な探究の時間」の活動で、三年間で展開しているものです。TxACTIONには左に記した三つの要素があります。その最初にくる

PROJECTでは、グローバル(グローバルな視点で課題解決力・課題解決力を養い、自己の職業観を養うことを目標に、学びを進めていきます。



新入生ガイダンス

四月一四日(水)、氷上ホールで右に記したタクシオンについてのガイダンスを受けた新入生は、今後展開される深い学びに決意を新たにしています。



第一回面談週間

本校では、四月と十月の二年二回、担任と生徒との二者面談を集中的に行う面談週間を設定しています。これにより、教員が生徒一人一人をきちんと把握し、丁寧に教育活動を進めていくことができています。



面談中の3年生

今年度の一回目は、四月一九日(月)から二三日(金)にかけて実施されました。生徒達は、スタートした学校生活への抱負などを担任に語りながら、自分の考えをまとめていました。



再び海へ

第一回広田湾調査

四月二十日(火)の午前中、海洋システム科海洋科学コースの二年生が二回目の調査を行いました。風が少々ありましたが、晴天に恵まれた調査日和

でした。この日は、広田湾内七カ所で測定器を使って、水深二十五メートルまでの水温や塩分濃度などを計測したほか、海中の栄養度を調べるため採水器で海水を採取しました。



海水の採取

地域貢献活動に関する講演会

午前中に、第二回広田湾調査が行われた二十日(火)の午後、TxACTION(火)の午後、TxACTIONの一環として、地域貢献活動に関する講演会が氷上ホールで開催されました。「TxACTION PROJECTの一環」を別の表現にすると、「総合的な探究の時間の探究活動」となります。

この講演会には、二学年普通科文系で主に就職や専門学校進学を目指すクラスの生徒と、一・二年生の海洋システム科の生徒が参加し、ダイビングショップP.O.S代表の佐藤寛志様から、地域環境の現状や活動の様子についてお話を伺いました。この講演会に参加した

生徒達は、ダイバーの皆さんによる気仙地域での海洋環境を回復させている活動に触れるとともに、気仙地域での実践が他地域のモデルになっていることを知り、グローバルな視点についての理解を深めました。



講演会の様子

高大連携地域探究

地域貢献活動に関する講演会への参加者以外の二年生生徒は、これから始まる探究活動のテーマをそれぞれ考えました。



テーマ設定の様子